

徳島県立脇町高等学校

1 学校の概要

① 生徒数 625名

② 校訓 「質実剛健・文武両道」

教育基本法ならびに本県教育の基本目標に基づき、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かで、自主的・創造的能力及び人権尊重の精神に富んだ人材を育てる。

③ 環境目標・テーマ

“Think Globally, Act Locally”（地球規模で考え，地域で行動を）

- ・省エネルギーに努めよう
- ・省資源・リサイクルを推進しよう
- ・地域の環境保全に協力しよう



2 行動方針

①節電

- ・使用していない教室や廊下の照明をこまめに消す。
- ・スイッチや蛇口に節電・節水を呼びかけるシールを貼り，注意を促す。
- ・「環境の日」を設けて省エネルギーを呼びかける。

②ゴミ分別

- ・ゴミの分別を明確にするため，ゴミ箱を増やし，分別表示する。

③リサイクル

- ・再生紙の利用を促し，古紙を教室・廊下で回収する。

④環境美化

- ・1年生の校外活動で地域の清掃を行う。
- ・デレーケ公園付近の清掃を行う。

3 行動

①節電・節水シール



校舎内に節電・節水シールを貼り，省エネを呼びかけています

②美馬市内清掃活動（平成25年4月19日）



毎年1年生が校外学習として、地域の清掃ボランティア活動を行っています。クリーンセンターではゴミの分別のしかたや処理状況について学習しました。

③デレーケ公園清掃ボランティア（平成25年12月12日）



2年生が2学期末考査終了後、学校近くのデレーケ公園にて清掃活動を行っています。拾ったゴミは学校でしっかり分別して処理しました。



④ ISO コーナーを設けて生徒・職員に活動の報告や電気・水道の使用量と料金のグラフを掲示して、省エネ意識の向上を図っています

4 具体的効果

- ◆ 電気・水道の使用量と料金をグラフ化し、ISO コーナーに掲示することで、生徒の省エネ意識の向上がみられた。
- ◆ 美馬市内清掃活動でクリーンセンターにてゴミ分別方法の講習を受けたことで、これまで以上にゴミ分別を意識して行うようになった。
- ◆ デレーケ公園周辺清掃ボランティアに多くの生徒が参加し、ボランティア精神や地域の環境保全の意識を育てることができた。

5 改善点〔見直し、今後に向けて〕

- ◆ 生徒への啓発を積極的に行い、生徒一人一人が主体的に活動する意欲を高める。また、教師主導から生徒会や環境委員会の自主的活動へと発展させていく必要がある。
- ◆ 節電・節水の意識は高まりつつあるが、今年度は猛暑の影響で電気料金が前年度を上回ってしまった。今後節電・節水を継続して呼びかけていきたい。